

銚子市地域おこし協力隊 令和6年度活動報告書

隊員名	大貫 周子	活動開始	令和 6 年 6 月 1 4 日
活動分野	協働のまちづくり推進		
今年度の活動報告			
年度途中（6 月 1 4 日）から着任し、任務開始と中間支援組織である銚子円卓会議の法人格取得時期が重なる状況の中、銚子円卓会議の活動促進と運営体制確立に注力をいたしました。助成金申請、ワークショップ企画運営、調査準備、研修参加等を通じて、地域課題理解、関係者連携、スキルアップを図り、「協働のまちづくり」推進の基盤づくりと実践に取り組みました。 主な活動： ● 組織基盤強化と資金調達：助成金申請、法人組織化事務、規程案作成 ● 市民参加と地域活性化：まちづくりワークショップ（多様な参加者、能登経験共有）、福祉まつり出展 ● 地域連携・ネットワーク構築：関係者との対話、千葉県ネットワーク会議参加、OSUSOWAKE シンポジウム運営、特別支援学校訪問、能登復興会議参加・視察、夷隅地域セミナー参加 ● 調査・研究：地域課題・市民ニーズ調査準備、市役所職員からの知見収集 ● 研修・自己研鑽：地域プロジェクトマネージャー養成課程受講			
来年度の目標・予定			
課題：行政連携の阻害要因の明確化、市民ニーズの深化と共有、中間支援組織の機能強化と認知度向上、多様な市民への効果的な情報発信、ワークショップの改善、地域への更なる理解と共感、政策提言能力の実践的活用等があげられます。 目標： ● 「つなぐまちづくり」阻害要因調査と対策検討（行政連携） ● 市民との継続的対話とネットワーク構築、市民団体連携促進 ● 銚子円卓会議の戦略的広報と相談・連携促進 ● 多様な参加者を惹きつけるワークショップの企画・運営 ● 地域資源の活用と新たな価値創出 ● 行政との緊密な連携と協働事業展開・政策実現に向けた取り組み ● 地域プロジェクトマネージャーの学びを活かした能力発揮と課題解決に向けた取り組み			
その他（これまで活動してきた感想など）			
この期間を通じて「協働のまちづくり」の推進には、関係者間の丁寧な対話と共通認識の醸成が不可欠であることを改めて強く認識いたしました。助成金申請やワークショップの準備など、一見地道な作業の中にこそ、協働を円滑に進めるための重要な要素が詰まっていることを学びました。 また、OSUSOWAKE シンポジウムや能登（珠洲市）訪問などによる、銚子市内外の多様な人々との交流は、新たな視点や価値観に触れる貴重な機会となり、自身の活動の幅を広げる上でも、大きな刺激となりました。さらに、地域プロジェクトマネージャー養成課程での学びは、客観的な視点やデータに基づいた政策立案の重要性を理解する上で有益であり、今後の活動に活かしていきたいと考えております。 来年度も地域おこし協力隊として積極的に貢献することができるよう、努めて参ります。			
【お問い合わせ】銚子市 総務課 総務室 0479-24-8794			